

第8回 長野市大規模施設の長寿命化改修事業に係る 実施設計技術協力 事業者選定委員会 会議録

1 日 時 令和6年12月25日（水）午前9時30分から午前12時00分まで

2 場 所 長野市役所第二庁舎 10 階 会議室 203

3 出席者

(1) 委員 5名

横田 典久 委員長、高村 秀紀 副委員長、今井 義明 委員、
佐々木 武信 委員、鈴木 秀規 委員

(2) 事務局及び市関係者 11名

4 会 議

(1) 開会（事務局）

(2) 委員長あいさつ（横田委員長）

(3) 議事

（事務局）

議事に移ります。

議事進行は、「選定委員会設置要綱」の規定により横田委員長にお願いいたします。

（横田委員長）

それでは、議事の進行を務めさせていただきます。

円滑な議事の進行にご協力をいただきますよう、お願いいたします。

ア 本日のスケジュールと審査方法について（事務局）

資料1について説明

（横田委員長）

ただいま、本日のスケジュール等について説明がありました。

これに関しまして、ご意見、ご不明な点等ありましたらお伺いします。

特にご意見がないようであれば、説明のとおり進めて参りますのでお願いいたします。

イ プレゼンテーション・質疑・意見交換

（横田委員長）

これよりプレゼンテーション及び質疑を行います。

まず、技術提案者の皆様には、本事業にご参加いただき、誠にありがとう

ございます。

また、本日は、お忙しいところ、選定委員会の審査にご出席いただき、重ねて御礼申し上げます。

適正な審査が行えますよう、皆様のご協力をお願いいたします。

ただいまから、プレゼンテーションを始めますが、説明の時間は 20 分です。

終了の 3 分前と終了時にそれぞれタイマーを鳴らしますので、よろしくお願い申し上げます。

それでは、技術提案者の皆様、プレゼンテーションを始めてください。

～ プレゼンテーション・質疑 ～

（横田委員長）

以上で質疑を終了いたします。

技術提案者の皆様、ありがとうございました。

ご退席ください。

（横田委員長）

これより意見交換を行います。

委員の皆様から、評価できる点や、配慮不足の点、疑問な点等ございましたら、お願いいたします。

（A委員）

工期の短縮に関する提案はなかったと感じましたが、そのような傾向でしょうか。

（横田委員長）

A委員のご意見について、事務局から何かあればお願いします。

（事務局）

工事全体スケジュールの中で、週休 2 日を確保しながら休館期間 212 日間で主要な工事を施工する提案であり、特に短縮するという提案はなかったと思います。やはり屋根工事は屋外工事ですので天候にも左右されます。今の段階でこれだけ縮めますというのは難しい部分もあったと思います。

（B委員）

諸官庁検査や市の完了検査を施設の休館期間外で行うことになっていますが、施設を使い始めても特に問題ないという理解でよろしいですか。

（事務局）

受変電の検査、耐圧試験などを行った後、試運転をしながら使い勝手につ

いて問題点の洗い出しを行うため、休館期間後1か月間を試運転調整期間として工程に見込んでいます。建築の屋根改修工事は、大規模な修繕模様替えに該当しないと考えておりますので、市役所の検査も休館期間の後で試運転調整をしたところで行うことを考えております。（保安上必要な検査は休館期間中に行い、市による竣工検査の前に、必要に応じて部分使用検査を検討する）

（D委員）

そこは施設管理者に話をしているということですか。

（事務局）

工事は休館期間の1か月後まで行うこととしております。

（B委員）

全体を通じて、安全対策から必要な品質管理、工程管理の現実的な提案をいただいているので、内容としてはまとまりのある提案だったと思いました。そのうえで、建設業界の生産性の向上という担い手不足の解消や、DX的な提案、見学会の提案については、若い人に興味をもってもらいたいため、建築を志している工業高校の生徒や大学生の他、ぜひ市外の高校、大学の方にも現場を見させていただくように取り組んでいただけたらと思います。

全体的に配慮されたよい提案であったと思いました。

（D委員）

見学会については、小学生のみではなく、信大の建築の学生さんなども対象となるようご配慮いただきたいと思います。

（C委員）

提案自体は非常にまとまっていて、特に問題はないと思いました。同じような話になりますが、情報発信というところで、例えばホームページで工事状況を発信していくとか、最近ではYouTubeなどあると思いますが、そういうような提案があってもよかったかなと思いました。全体的にはいい提案だったと思いました。

（E委員）

各委員からお話がありましたとおり、全体的に素晴らしい提案だと思います。建設時のCO₂削減、廃棄物の対策というところがいいシステムで特徴的だと思います。今後は、運用時ではなく建設段階のCO₂削減が求められていくと思いますので他の物件と比べてどうだったかなどデータとしてうまく活用して利用できればよいと思いました。

それと設備に関わることで、ヒートポンプに変えるという提案がありましたが、根拠を提示していただければありがたかったと思いました。実際採択さ

れるときは、ヒートポンプが寒冷地で大丈夫かなど、仕様を十分に検討して省エネの建物になるように検討いただければと思いました。

(B委員)

E委員からお話がありましたとおり、吸収式冷温水発生機は基本設計ではチラーに変更する設計にはなっていなかったということですか。吸収式をチラーに変更する提案があったということですか。

(事務局)

基本設計では既存と同じ仕様で更新になっています。(基本設計では、既存の吸収式冷温水発生器を更新する計画とし、空冷ヒートポンプチラーへの変更は見込んでいません。熱源機器を吸収式冷温水発生器から空冷ヒートポンプチラーに変更する提案があったということです。)

(B委員)

エネルギーの変換などいろいろな課題があると思いますが、E委員からお話がありましたとおり、メリットとデメリットやLCCO₂のものと冷暖房の消費エネルギーなど数字的なものをしっかり整理したほうがよいと感じました。

(D委員)

実際に工事をやるのは1年先のため、今よりコストが上がる可能性もあると思います。概算工事費と工事費参考額の差について、しっかりコスト管理をしていき、なるべく予定価格を参考価格に近づけていく努力をしていかなければいけないと思います。

ウ 事業者の選定・選定理由の協議

(横田委員長)

委員の皆様から、いろいろなご意見をいただきましたが、全般的な意見としてAグループは優れた提案だったと感じました。このAグループを、最優秀者に選定してよろしいでしょうか。

《一同、異議なし》

(横田委員長)

全員一致でAグループを最優秀者に決定いたします。

委員の皆様、ご審議ありがとうございました。

(横田委員長)

続きまして、審査結果の公表に向け、委員会として選定理由をまとめてい

きたいと思います。

事務局から提案がありましたら説明お願いいたします。

(事務局)

ただいま委員の皆様からいただいたご意見をまとめますと、概ね良い提案だったというご評価をいただきました。

その中で、まず安全で品質を確保し、工程をしっかり管理するという現実的な提案があったということ、また、次世代を担う子供たちが建設業への関心や興味を高める取り組みとして工事見学会を行う提案があったということが評価できるとのご意見がありました。

一方で、CO₂の削減については工事中から運用段階についての提案があったものの、その根拠等実施設計の中でしっかり精査していく必要があるというご意見をいただきました。

コストについては、概算工事費に関する提案が参考額を上回っていることから、実施設計において協議調整をしていくことというご意見をいただきました。

本日いただいたご意見を審査結果としてまとめたうえで、選定理由の公表に向けての資料を委員の皆様にご確認いただき、ご承諾いただいたところで公表してまいりますのでよろしくお願いいたします。

(横田委員長)

事務局から、説明がございました。

事務局で公表する内容について資料を作成しますので、後日、委員の皆様を確認をお願いしたいと思います。

そのような方法で進めていくということですのでよろしいでしょうか。

(B委員)

働き方改革というところで、完全週休2日を目指す提案があったと思いますので、その部分を評価に加えていただければと思いますのでよろしくお願いします。

(事務局)

承知しました。

(横田委員長)

本日の議事については以上でございますが、全体を通してご質問、ご意見等ありましたらよろしくお願いいたします。

よろしいようであれば、以上で議事を終了いたします。

円滑な議事進行にご協力いただきましてありがとうございます。進行を事務局にお返しします。

5 その他

(事務局)

本日は、長時間にわたる審査・選定、誠にありがとうございました。

本日の結果は、ご案内のとおり、今月中に最優秀者に通知し1月上旬には公表いたします。

今後の予定としましては、本日、選定いただいた最優秀者と「技術協力業務委託」を締結し、実施設計業務に参画をしていただきます。

その中で、工期短縮やコスト縮減が期待できる工法など、施工者の高度な技術力やノウハウを設計に反映し、確実に質の高い工事の実現に向けて、設計業務を進めて参ります。

実施設計完了後は、市と実施設計技術協力事業者との間で工事に関わる価格等の交渉を行います。

価格等の交渉では、設計者から提出される実施設計図書と、実施設計技術協力事業者から提出される工事費見積書等について、設計内容と異なる部分がないか、数量や単価の相違がないかなど内容の妥当性を確認します。

この価格等の交渉結果を踏まえ、見積条件や工事費、工期等について合意に至った場合は、工事費見積書等に基づき、長野市が予定価格を作成し、随意契約で、「ビッグハット長寿命化改修第1期工事」の請負契約を締結することになりますのでよろしくお願いいたします。

6 閉会（事務局）

以上